

<p>〔開会の宣告〕 遠藤洋路 教育長</p> <p>〔会議の成立〕 遠藤洋路 教育長</p> <p>日程第1 協議</p>	<p>それでは、これより令和2年度第9回臨時教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>本日は、5人の委員が出席しているので、この会議は成立しております。会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、会議規則第14条第2項の規定により、出川委員と小屋松委員とします。</p>
<p>・協議 令和3年度（2021年度）使用中学校教科用図書採択について（公民・技術・保健）</p>	
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>廣瀬泰幸 教育センター副所長</p>	<p>協議について説明します。令和3年度から中学校で使用する教科書全16種目の採択をお願いします。そのうち、本日は「公民」「技術」「保健」についてご協議をお願いします。 まずは、熊本市教科用図書選定委員長から報告をさせていただきます。</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>まず、「公民」の教科書の調査結果について、研究員代表が説明いたします。</p>
	<p>《工藤照彦 研究記録員 説明》</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>次に教科書展示会の意見集約の結果報告を事務局が説明いたします。</p>
	<p>《廣瀬泰幸 教育センター副所長 説明》</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>ただ今の報告について、事前に選定委員会にて調査報告を審議した結果、内容は妥当であると判断しました。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>それでは、協議に入ります。ご意見・ご質問がありましたら、お願いします。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>最初に非常によくまとめられたプレゼンで、分かりやすかったことをありがとうございます。私が注目したのは、人権に関する記事について、他社に比べて、自由社は乏しいようですが、そのように理解してよろしいですか。</p>
<p>工藤照彦 研究記録員</p>	<p>自由社の人権に関しての記述は、確かに量的には少ないと思います。研究員会では、観点8の人権について東書と教出に◎をつけました。その理由は、東書は49頁と170頁を見ますと、ハンセン病、水俣病が記載され、本市本県における内容が充実しています。教出は52頁と56頁を見ますと、恵楓園、免田事件、水俣病に関する訴訟の記述があります。その点から、他社においても人権に関する記述はありますが、東書と教出は充実しているととらえました。自由社については、西山委員が言われたように、やや少ないという印象です。</p>

<p>西山忠男 委員</p>	<p>東書と教出は分かりましたが、日文も優れていると思います。日照権についてですが、ビルを建てたら隣の家は建てられなくなるという内容について、日文は62頁に明確に書かれています。他社は書かれていないので、誰のための日照権か理解しづらいです。また、日文は、遺伝子情報と人権にまで踏み込んでいます。東書の尊厳死をめぐる人権、教出のネット社会で人権を守ることなども大切だと思います。どれも素晴らしくて迷ってしまいます。東書と教出について、とても工夫されていると判断した決め手ももう少し説明してください。</p>
<p>工藤照彦 研究記録員</p>	<p>人権問題については、今回の6社すべてにおいて現行教科書より内容が多く、充実したものになっています。「とても工夫されている」と「工夫されている」との差は、内容量及び身近な人権問題かどうかという点に関して比較検討しました。東書と教出がとても工夫されていると判断した理由は、熊本県及び熊本市に関する人権問題を他社よりも多く扱っているからです。また他社の人権問題に関する記載内容が充実していないわけではないことを付け加えておきます。</p>
<p>小屋松徹彦 委員</p>	<p>観点4と観点5について感想を述べます。まず、勤労観・職業観を育む工夫について、帝国は印象的で、説明にもあったパン屋の起業ですが、いろいろな角度から、起業に関連する社会事象を見ていて、子どもたちにとってなじみやすいと感じました。教出は、氷川中学校の事例を取り上げていますが、いきなりクラウドファンディングについて出ており、少しハードルが高いのかなと感じました。資金集めのことについては、帝国のよういろいろな視点があった方が民主的に考えることができると感じました。次に観点5、対立と合意、効率と公正という観点から見た時に、東書は、部活動と体育館の使用を取り上げ、対立と合意、効率と公正について具体的に考察するようになっており、子どもたちにとって身近な問題なので、良いと思います。教出も、合唱コンクール、ごみ処理場が取り上げられており、子どもたちにとって身近なテーマだと思います。帝国は、ちょっと観点が変わっています。防災備蓄倉庫、マンションの騒音が取り上げられ、学校内ではなく、社会にある身近にある問題で、対立と合意、効率と公正について考えるようになっており、3社の中では、帝国が優れていると感じました。また、帝国は頁が少ないと説明がありましたが、対立と合意、効率と公正について、パン屋の起業にしても、みんなの意見を聞くための時間がかかるので、頁数は少なくても当然だと感じました。</p>
<p>泉薫子 委員</p>	<p>どの教科書も、導入から確認、発展というふうに系統立てて作ってあり、見やすく選ぶのが難しいと感じています。東書は「チェック・トライ」、教出は「確認・表現」があり、子どもたちに最初に確認をさせて、お互いに話し合ったり、自分の言葉で説明したり、2段階構成になっているようですが、各社、難易度が少しずつ違うように感じています。東書は、すごくスモールステップに設問が聞いてあります。基本的なところを答えやすく聞いてあり、次の発展問題はちょっと考えるようにできていると感じました。そういった設問の違いについて各社の違いがあるかどうかと、表現や説明とかを自分たちで考えさせるという設問について、東書、教出、帝国の違いがないかをお聞きしたいですけど。</p>

<p>豊田浩之 研究員代表</p>	<p>お話していただいたように、各社ともまとめの段階で、学習した内容を振り返り、次に進める過程を踏んでいます。教科書によっては、さらにその先を求めるようになっていきます。熊本市の中学生の課題が主体的な探究というところがありましたので、学習したことをもとに、自分たちの生活に関わるような探究をしたい、と思わせるような発問があるものとても工夫されていると判断しました。ただし同じ評価判断はしたものの、差があります。</p>
<p>泉薫子 委員</p>	<p>決定するにあたり、具体的な差を教えてください。</p>
<p>工藤照彦 研究記録員</p>	<p>各社、目次で、独自の特徴が書かれていますので、東書、教出、日文は、教科書の4～5頁、帝国は巻頭の5～6頁を見たいと思います。東書の4頁「チェック&トライ」では、チェックは基礎的内容で、それを踏まえてトライしようという、基礎・基本を重視した構成になっています。教出の4頁右下の「確認と表現」は、この時間を振り返って確認し、学習したことを活用して表現しようとなっています。それぞれ難易度は、扱う題材によって異なると思います。研究会としては、3分野共通していますが、単元を貫く課題で何を学び、どんな資質・能力を付けるかを重視して協議しました。</p>
<p>出川聖尚子 委員</p>	<p>公民の科目は、抽象的なことが多いので、子どもたちが身近なこととして考えていくために、導入が大切だと思います。導入について、各社比べて充実している教科書を教えてください。</p>
<p>豊田浩之 研究員代表</p>	<p>各章の始めのところを見たいと思います。イラストを使ってその章で学習する全体的なことをつかむ形態をとっている会社が多いです。最初に全体像をつかみ、次に細かく見ていき、最後に復習する。その中で主体的に探究するための課題を提示しています。研究員の中では、イラストを使った見開き2頁でしっかり表しているところが、見通しがたちやすいと判断し、◎にしました。</p>
<p>工藤照彦 研究記録員</p>	<p>補足します。各社の1頁を開いていただいでよろしいでしょうか。今回の検定を経た教科書に関しての1つのキーワードは、SDGs、持続可能な社会に向けてということがあります。できるだけ子どもたちが目にしてきた現象や出来事から、その背景にある法律的、人権的、国際関係的なものとかを考えて、各社導入に地理的分野や歴史的分野にフィードバックしながら写真や図解を使って工夫してあります。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>各社ともに巻末に法令集が掲載されており、日本国憲法が載っていますが、これは授業で教えるのか、それとも生徒に読んでおきなさいというだけでしょうか。</p>
<p>豊田浩之 研究員代表</p>	<p>使います。子どもたちに条文をしっかりと確認させて、場合によっては、暗唱するとか、一斉に声に出して読んだりすることも授業の中でします。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>そうだとすると、日本国憲法はかなり難しい言葉が使われているので、生徒には難しいと思います。そういう点で、用語解説が充実しているのは、</p>

<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>東書、育鵬社だと思いました。</p> <p>他にありませんか。</p>
<p>小屋松徹彦 委員</p>	<p>エネルギー問題について、原発の問題で大切なことは廃棄物処理、最終処分をどうするかという問題で、現在答えがありません。相当な費用がかかるとも言われています。そういう問題について、各社の記載を見てみました。廃棄物の処理、費用に関して文章に出てきたのが、帝国、東書でした。この廃棄の問題は、とても大きい問題だと思いました。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>どの教科書も甲乙つけがたく、悩ましいと思います。公民ということで民主主義、人権、憲法など、基本的なことの説明がどうなっているかが大切だと思います。それぞれに一長一短。例えば、帝国は良いと思います。それは、憲法について、最初に民主主義と立憲主義の説明がしっかりあり、次に人権、憲法という構成となっています。まず憲法があって、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重が書かれてありますよという話ではなく、何で憲法ができているのか。民主主義が基本で、民主主義が前提で憲法があるということで、説明としての順番は良いと思います。一方で37頁に、憲法のことによく出てくるものではありませんが、昔の文部省がつくった「新しい憲法の話」の挿絵があり、三大原理として、主権在民主主義、民主主義、国際平和主義が書かれています。一方右側を見ると、日本国憲法は国民主権、平和主義、基本的人権の尊重を三大原則として書かれています。このように左右で、全然違うことが書いてあるのに、説明は何も書いてありません。これについて、どのように説明していますか。</p>
<p>工藤照彦 研究記録員</p>	<p>6社に関して、日本国憲法と民主主義について、目次における構造の順を見ていきたいと思います。赤枠は日本国憲法が始まる場所、青は民主主義が始まる場所です。東書と教出は日本国憲法から民主主義です。帝国は民主主義から日本国憲法。日文と自由社も同様です。育鵬社は日本国憲法から民主主義です。ちょうど3社ずつに分かれている形になります。学習指導要領によると、民主主義が基本的な柱です。子どもが民主主義、憲法に出会うのは3回目になります。小学校高学年と中学2年での歴史的分野ということです。各社の特徴として、どちらが良い悪いではなく、まとめの特徴が表れているのは、教育長がおっしゃった通りだと思います。</p>
<p>豊田浩之 研究員代表</p>	<p>教育長の発言の通り、37頁の右側にある国民主権、平和主義、基本的人権の尊重が授業で教えていることです。逆に37頁の左側にある言葉は、授業では詳しく扱っていません。資料を見て、当時はこのような言葉であり、現在はこのような三大原則としてあるということのみを指導しているのが現状です。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>説明がないので混乱しないでしょうか。主権在民主主義と民主主義は、今だと同じように思いますが、当時は基本的人権の尊重という言葉は三大原理になかったことですが、この図版は結構混乱すると思います。ない方が分かりやすい。つまり、説明の順は良いが、三大原理の説明は混乱するということです。帝国の一長一短です。他社も同じく、良いところも悪いところもあります。総合的にみると、東書は無難と言えます。致命的なところがな</p>

<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>いし、際立った特徴もない、無難だという感想を持ちました。</p> <p>他に意見はありませんか。ないようなので、以上で「公民」について終了します。</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>続いて、「技術・家庭（技術分野）」の教科書の調査結果について、研究員代表がご説明いたします。</p> <p>《水田貴光 研究記録員 説明》</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>次に教科書展示会の意見集約の結果報告を事務局がご説明いたします。</p> <p>《廣瀬泰幸 教育センター副所長 説明》</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>ただ今の報告につきまして、事前に選定委員会にて調査報告を審議した結果、内容は妥当であると判断いたしました。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>それでは、協議に入ります。技術についてご意見・ご質問はないでしょうか。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>この表を見ると◎の数はあまり変わらなくて、どの教科書も説明資料等、よいと思いました。開隆堂は、デジタルコンテンツが良く、非常に充実していますよね。それから、教図はどちらかというと、ものづくりに重点を置いているという印象があって特徴的だなと感じています。一方、情報分野を見比べてみたんですが、開隆堂と東書はソフトの使い方まで、例えば表計算ソフトなど細かく扱ってありますが、教図はあまり掲載されていない印象を受けました。情報分野はこれから重要と思うんですが、情報分野で比較されて、ここが良いとかここが良くないとかいう調査結果はどうだったんでしょうか。</p>
<p>宗裕紀 研究員代表</p>	<p>私達の話の中では情報分野では、各社大きな差はないと感じたところでした。先ほどご指摘がありました、ワードだったりエクセルだったりという部分は小学校の学習内容でありますので、教図は重視していないのだろうと調査研究会で確認して、納得のいくところでした。</p> <p>ただ、生徒達の実態としては、やはり、それは必要です。実際、うちの学校でもワード、エクセルの使い方はもう一度やっておるところです。ですので、そこについては、教科書に載せるということは必要であろうと考えています。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>その点については、教図はその辺の記述は足りないようですが、技術ハンドブックは良いと思ったんですが、調査研究ではその点についてはどのような評価をしましたか。</p>
<p>宗裕紀 研究員代表</p>	<p>教図のハンドブックは、技能面がまとめて書いてある点は使いやすいと判断しております。しかし、今後のことも含めてですが、どの会社もデジタルコンテンツが充実しています。今後、本市では生徒一人ずつにタブレットが入る現状もあるものですから、技術ハンドブックに代わる部分は、ど</p>

<p>小屋松徹彦 委員</p>	<p>の教科書でもデジタルコンテンツで補えると考えられます。</p> <p>構想図の書き方は、私も東書がわかりやすいと思ったのが感想です。それから、ご発言の中にありましたけれども、デジタルコンテンツの利用のことなんですが、調査報告書によると開隆堂には、指導者用デジタル教科書の利用が可能とありますが、他の2社についてはどうなのか。教科書を見る限りでは、東書以外はQRコードが頁ごとに付いているようなので、起動するまでに時間がかかるのではないかと思います、そこはどうなのでしょう。</p>
<p>宗裕紀 研究員代表</p>	<p>ご指摘の通り、東書は、QRコードを利用したデジタルコンテンツを使用するまでの時間が他の2社よりもかかると思われます。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>他にありませんか。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>では、私から。技術の時間では、教科書をどの程度使用するのでしょうか。結構な分量がありますけど、全て使用するというものではないと思われれますが、実際の授業での教科書の使い方を教えてほしいんですが。</p>
<p>宗裕紀 研究員代表</p>	<p>結構使います。大きな授業の流れとして、製作に入るまでに教科書を中心に学習を進めます。そして、製作に入ったら、もう1回見てみようという場面が多々ありますので、そういった場面で教科書を確認していくという形です。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>自分の中学校時代は、ひたすらはんだづけを行っていて、教科書を使った思い出がないんですね。</p> <p>東書の79頁の熊本城は地元資料で非常に良いと思います。この部分だけ見ても、東書が良いのではと思いますが、しかし、一方で「最適化の窓」は初日に破れそうな気がして心配で、ビリビリになるのが目に浮かぶんですね。また、東書には、パラパラ漫画が載っていて、必要ないと思うんです。公民とかには、付いていないわけですよね。技術をなめているのではないかとというのが率直な感想です。家庭科にも付いていましたよね。付けるなら全部つければと思いますし、付けないなら全部付けない方がいいのではないかと思いますし。展示会の感想を見ると、東書にしか関心がないんですかね。他の教科書はノーコメントと見て取れるんですが、どう思うか教えてください。</p>
<p>宗裕紀 研究員代表</p>	<p>現在の学校では、東書を使用しているので、一番関心が高いのではないかと思います。私達世代になると、以前は開隆堂も使っていたので目はいくと思うんですが、今は東書なので、そうなるのかなと思います。教図については、製作物が固定されているようなところがあります。市販されている製作物、それに合わせた教科書のつくりがしてあるというのが特徴の1つです。私の個人的な考えですけど、製作物も固定されてしまうのではないかと。現在の学校現場では、一枚の板から自分の必要とするものを作ってみようという授業を行っています。そういう面で、授業に沿っているという点で、東書についての意見が多くなったのではないかなと感じます。</p>

<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>他に意見はないでしょうか。ないようでしたら、以上で「技術・家庭（技術分野）」について終了します。</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>続きまして、「保健体育」の教科書の調査結果につきまして、研究員代表がご説明いたします。</p> <p>《吉田誠 研究記録員 説明》</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>次に教科書展示会の意見集約の結果報告を事務局が説明いたします。</p> <p>《廣瀬泰幸 教育センター副所長 説明》</p>
<p>岩本晃代 選定委員長</p>	<p>ただ今の報告につきまして、事前に選定委員会にて調査報告を審議した結果、内容は妥当であると判断いたしました。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>はい、それでは保健体育につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>全体的にみて東書が優れているというのはよくわかります。東書ですと自然災害に関する内容が70～73頁の4頁ありますが、大日本だと、98頁から6頁かけて、非常に豊富な写真をつかって、自然災害の防止に関する記述がございます。また学研も、116頁から6頁あり、自然災害、身を守るためにと詳しい記述があるんですね。災害多発県、熊本であるので、そういう観点からみると、自然災害の記述が多い会社を選びたくなるんですけども、その点はいかがお考えでしょうか。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>ここ数年、自然災害が熊本市、県でも多発している状況で、注視して研究員も見させていただきました。学研は6頁、大日本は2頁に加えて3頁の資料が載っています。特徴は、東書はその後の「共に生きる」「心のケア」「ボランティア」、学研は急な大雨や積乱雲がくる際のこと、大修館は、気象災害レベルの説明、大日本は、多くの災害時の写真とともに津波などの写真、指導の際の配慮まで触れてございました。ご指摘があったとおり、どの教科書も詳しく触れてあると見たところですが、特に、東書の「共に生きる」「心のケア」「ボランティア」のところに着目したところです。</p>
<p>西山忠男 委員</p>	<p>一応触れてはあるんですけど、詳しいという意味では、大日本は120頁の警報と注意報、取るべき行動の確認の説明が詳しくあるんですね。そういうのに比べると東書の記述は簡単過ぎるような気がしてですね。私自身のコメントです。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>補足をよろしいでしょうか。東書の方は、本文としては4頁ですが、章末資料と発展で4頁、併せて8頁ございます。86頁からかなり補足している状況です。トータルすると章末と本文で合わせて見ていけるようなつくりになっているかと思います。</p> <p>他にないでしょうか。</p>

<p>遠藤洋路 教育長 泉薫子 委員</p>	<p>どの教科書も、最初の導入で興味をもたせる工夫をとてもしてあるのが、なかなか生徒が興味をもてないことを想像させます。課題をつかむという形で問題形式にしたり、今現在の課題が書いてあったり、コラムがあったり、東書は「みつける」で大きく扱ってありますね。この教科書の大事なところなんだろうと思って見ていて、学研などの課題をつかむは、どれを見ても、現実の問題を取り上げてあり、興味をもたせるコラムになっていのかなと思いました。また、東書は最後の子どもたちに考えさせる課題が、非常に自分の身の回りのこと、自分の家族のことで考えるようになっていて、身の回りのことに勉強したことを応用するようになっていっているところが、非常に良いところかなと思いました。お聞きしたいのは、先生たちは、具体的に授業でどんなふうに単元の導入を行われるのか、具体的に教えてほしいと思います。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>委員からご指摘があった通り、保健分野においては、導入が勝負であります。今現在、生徒はほぼ健康であり、だからこそ関心がない。だから、どうこの単元で深めていくか、導入を大事にしているところです。研究員で統一して、導入が勝負というのを一つの視点にして教科書を見させていただき、この点についても、意見を統一して出させていただいたところです。最初に見た時に、これが課題、ここから入っていくんだという視点が分かりやすく、東書が教えやすいという意見が、研究員から統一した意見として出ておりました。現場としてですね。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>例えば、大日本と大修館は運動量の比較で、バスケットボール10分と同じ運動量の活動というのが書いてあって、私は中学校の時バスケ部だったんですけど、バスケットボールの10分はとてつらいですよ。軽いジョギング10分と同じ運動量とは思えません。バスケットボールはやり方によって極端に運動量は違います。あまり比較の対象として適当ではないんですよ。それ以外の2つは、バスケットボールとの比較ではないので変だと思わなかったんですけど。例として、バスケットボールをもってくるのはどうかなという気はしました。</p> <p>別の観点なんですけど、2年生の生活習慣病、癌、喫煙、薬物乱用が取り上げられています。私も癌になったんですけど、癌について、大修館は80頁から書かれており他社の倍ぐらいなんですよ。他社は癌の予防、早期発見、治療もあるという感じなんですけども。癌は、日本人の2人に1人はなるということからすると、予防するのはできる場合とできない場合があるので、早期発見と治療の方が大切だと個人的に思います。それが一番書いてあるのは大修館かなと思いました。他のところは、生活習慣病や癌に比べて喫煙、飲酒、薬物乱用が割合的に多いですが、生活習慣病と癌の方がはるかに大きな問題だと思います。中学生だからかもしれないし、学習指導要領との関連からかもしれないですけども。大修館もよいですが、バスケットボールの件を考えると、どうなのかと色々思うところがあります。</p>
<p>小屋松徹彦 委員</p>	<p>観点8「人権尊重の精神の涵養を図る人権教育を推進するための工夫がなされていること」について、4社の比較はいかがかでしょうか。</p>

<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>全て「工夫されている。」と評価したところです。どの教科書もしっかりおさえてございました。東書は175頁で違いを超えるスポーツ、活用で考える場の設定をしてありました。大日本は違いを超えて交流を深めるスポーツ、大修館はみんなで楽しむボッチャを取り入れてあります。学研は様々な違いを超えてスポーツでつながる世界が取り上げられています。取り上げ方は違いますが、人権教育の視点はどのような教科書もしっかりと大切にしていると研究委員の中では意見としてまとまったところです。</p>
<p>小屋松徹彦 委員</p>	<p>学研にはLGBTのコメントがありますが、少数者について触れてるのは、学研の他にありましたか。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>性の多様性というところで、東書は44頁の章末資料に体験談をもとにトランスジェンダーのことを詳しく触れてございます。大日本は38頁のトピックで個性や能力を大切にするというところで触れてございます。大修館も38頁で個人差に触れてあります。学研は43頁で少数者の意見を社会を変える力にと、職業としてのことで説明してございます。LGBT、SOGIで、どんな性別を好きになるのか、自分自身をどんな性と認識するのかというところで、ここは詳しく出ているようなところです。</p>
<p>泉薫子 委員</p>	<p>たばこの害について各社見ていきますと、東書の99頁の人体の図、他の会社では大日本77頁の人体の絵を見ていただくと分かるんですけど、東書の臓器の絵は色が淡いということもあるんですけど、胃と脾臓の区別、肝臓も分かりにくいというところがあります。他社の図は色分けがしてあって、どういう位置関係かが分かるんですけど、そこがちょっと残念なところかなと思って見ていたところです。感想です。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>淡い色でという指摘がありました。図を見てみますと区別が分かりにくいのはおっしゃった通りだと思います。ただ、トータルして全体を見た時に、見る側が見やすいと感じています。柔らかく入ってくるという意見が、研究員の中でもたくさん出たところです。ここでは、逆にそれがマイナスになってしまったということじゃないかと思います。</p>
<p>泉薫子 委員</p>	<p>そうですね。この図ですけどね。確認してみましたけど、他には気にならなかったところはないんですけども。感想です。</p>
<p>出川聖尚子 委員</p>	<p>感想ですけども、この保健体育の教科書は文字の場所、幅が様々で、他の教科と違っているのが気になったんですけど、そのことに関しては研究員の中から意見はあったんでしょうか。私自身としては、読みやすいものと読みにくいものがあるなと感じたんですけども。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>じっくり全部見たんですけども、この中で東書はすうっと読めていったという印象を、私並びに研究員も持ったところです。各社、ユニバーサルデザインという視点でレイアウト等も工夫してあると思いますが、東書は、ごちゃごちゃしていないで、目に優しく入ってくるレイアウトだなと思いました。授業をするときも、すうっと入って流していける工夫がしてあると感じたところです。資料等があちこちあると、どこから読むのかなと悩むところもございますし、展示会の一般からの意見にもありましたが、密に</p>

<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>なっている教科書があることは、研究員からも意見が出ていたところです。</p> <p>東書は、さっき説明があったように、確かに本文の位置が決まっているという点では読みやすいと思いますね。大日本も、全部右が資料、左が本文で、これはこれで分かりやすいですし、本文がやや少ないということはありませんけれども、一方で資料はまとまっていて分かりやすいなと思います。学研は、本文がどこにあるか分からないような気がして、読みにくいのかなという印象があります。大修館は、人によるかもしれませんが、頁によって本文が真ん中や両端にあって、どうかな、という感じがします。特徴的ではあります。見やすさは、確かに東書、大日本が見やすいなという印象があります。大修館は頁によって違うのは、何かコンセプトがあるのか、もし分かれば教えてください。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>質問の答えになっているか分かりませんが、大修館で特徴的なのは、題材の項目が結論になっているんですね。この時間はこれを学び取るのだということが明確に出されているのが大修館の一つの特徴かと思います。すみません、答えにはなっていませんが。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>分かりました。大修館の癌を取り上げている箇所ですが、80頁から見ると、80～81頁は真ん中の上の方に文章があり、次をめくると、今度は最後に文章があるんですね。ここから始まるのかという感じで、ちょっと見にくいという感じがしますね。授業する際に、子どもに教科書のレイアウトなどはどれくらい関係があるんですか。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p>	<p>教えるときは、すうっと流れるような感じが教えやすいのかなと思います。今言われたように、どこからスタートするのか分かりにくいと、教える方もなかなか教えづらいところがあると思います。</p>
<p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>ある程度、規則的な方がいいということですか。</p> <p>そうです。</p>
<p>大園隆明 研究員代表</p> <p>遠藤洋路 教育長</p>	<p>他に意見はないでしょうか。無いようですので、以上で「保健体育」について終了します。</p> <p>以上で本日の協議を終了いたします。</p>